



交渉力を高める

～「妥協」ではなく「WIN-WIN」を実現する交渉力～

ねらい

交渉の意義・目的を理解するとともに、ロールプレイを通じた事例演習を通じて、交渉の事前準備や手順・方法論等に関する実践的な知識・スキルを習得し、交渉力の向上を図ります。

特徴

- ・事前準備からフォローまで、交渉の流れを再確認できます。
- ・円滑に交渉するための説得の方法を習得することができます。
- ・業務での事例を題材に演習することで、職場ですぐに活用することができます。

形式

本研修は座席をグループごとに配置し、講師による講義や演習、グループでの討議などを中心に実施します。

■日程【1日間】

10月 2日(水)

■予定人数

19名

■対象

- ・交渉における考え方の手順を学びたい方
- ・住民や関係機関との折衝・交渉が多い部署にいる方

■講師

株式会社インソース 河邊 議導

プログラム(予定)

9:00	12:00	13:00	17:00
<ol style="list-style-type: none"> 1. 交渉について考える 2. 相手はどのような時に要望を受け入れるか 3. 交渉の前に 4. 交渉の流れ 5. 事前準備の重要性 			<ol style="list-style-type: none"> 6. 説得の方法 7. 交渉の実際 8. 振り返り

カリキュラム(予定)

時間	内容	
1 日 目	9:00	1. 交渉について考える
		2. 相手はどのような時に要望を受け入れるか (1)相手が要望を受け入れるとき (交渉が成立するとき) (2)相手が要望を受け入れないとき (交渉が成立しないとき)
		3. 交渉の前に (1)交渉は公益を実現するために行う (2)相手に信頼される人になる (3)非公式な交渉
		4. 交渉の流れ
		5. 事前準備の重要性 (1)交渉相手を知る (2)目的の明確化と交渉場面のイメージづくり (3)交渉のための資料作り (4)交渉の練習をする ～目に見える資料を持参する
	12:00	
	13:00	6. 説得の方法 (1)相手を説得する①～メリットを伝える (2)相手を説得する②～ルールを守るように要求する (3)相手を説得する③～相手の感情に訴える (4)相手を説得する④～公益実現への共感を得る (5)論点を整理する (6)意見対立時の対処方法 (7)交渉は連係プレー(二人以上で交渉) (8)条件交渉をする ～不利な条件で妥結しないために
		7. 交渉の実際 (1)交渉相手との共通項づくり (2)交渉中は極力、相手の話を聴く(相手に話してもらう) (3)交渉相手の気持ちを理解する (4)交渉時の話し方 (5)その他の留意点 (6)交渉後の対応の要点
17:00	8. 振り返り	

※研修内容は現段階での予定であり、今後、変更となる場合があります。

受講者の声(令和5年度)

- 相手の話を聞き、要望やメリット・デメリット、求めていることを探っていくことが改めて大切だと感じた。
- 普段の業務に活かすことだけでなく、演習で実際に問い合わせのありそうなことが学べて大変勉強になった。相手方との交渉・話し合い、他にも電話対応等で応用できそうだったと思った。
- 普段交渉を行う際に、スムーズに話が進むパターンばかり想定して準備を進めていたが、今回ボトムライン・撤退ライン、できないことを予め検討しておくことも交渉を円滑にする為に重要であることを知ることができた。
- 仕事の内外に関わらず、相手との話し方、進め方、交渉の進め方が参考となった。